

平成 25 年度 第 2 回 磐田市歴史文書館運営審議会

日時 平成 26 年 2 月 4 日 (火) 13:30 ~ 14:56

場所 磐田市竜洋支所 2 階 会議室

出席者 市歴史文書館運営審議会委員 7 名

鈴木直会長 小杉副会長 鈴木潔委員 高橋委員 市川委員 杉浦委員
石川委員

出席職員 教育委員会事務局職員 5 名

鈴木事務局長 山崎課長 佐藤館長 山室副主任 名倉囑託

傍聴人 なし

議事

1. 報告事項

(1) 非現用公文書等の移管選別状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

(2) 企画展、レファレンス利用状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

企画展の入場者数は記帳された方の人数なのか、どなたかが数えているのか。

(回答) 書いていただいたものがほとんどである。無理に書いていただくようなことはしていない。図書館での展示は職員が数を数えている。

実際は、もっと多いのか。

(回答) 多いと思うが、記帳は来館者の意志に任せてある。

(3) 地域資料の受入れ整理状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

(4) 歴史学習会について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

(5) 福田町史編さん事業について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

入場者数 1630 人は、展示としては盛況だったと判断できるか。

(回答) 福田地域の戦争に関する展示という絞ったテーマだったため、多くの方に見ていただくことができたのではと考える。また、終戦の時期でもあり、新聞社の取材を受けたことも大きい。盛況といえると思う。

福田町史の意見を参考に、災害などの体験談などを 26 年度の事業計画に活かしていったらどうか。企画展は、専門的なことが多いが、一般の方が気軽に見られるような展示をすることが、文書館を認識してもらうには大事ではないか。

(回 答) 福田町史で収集した資料などを展示している。地域の資料は、その地域で展示するのがいいと考える。歴史文書館に関心を持ってもらい、収集した資料を活かして、幅広い年代層に來場していただける展示を目指していきたい。

福田地区だけでなく、全市での体験談も収集していったらどうか。戦争や災害の体験談を語れる人が、現在生きている時に収集して公表したらどうか。

(回 答) 東日本大震災後の問い合わせから、体験を記録することの大切さを感じた。今後もたくさんの体験談を収集したいと考える。

市は、歴史文書館の展示室を市の中央部に持ってくる計画はないのか。

(回 答) 今後、公共施設の見直しの中で、統廃合等により活用できる施設やスペースが出てくれば、検討できる可能性もあるのではないかと思います。

2. 協議事項

(1)平成 26 年度事業計画について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

文書館の基本構想の、研究紀要の発行はまだ出来ていないが、レファレンスをまとめて「回答集」を作ってみたらどうか。また、図書館と協力してレファレンスの回答事例をまとめてみたらどうか。

(回 答) 研究紀要は、将来的には作っていかねばいけないと考えている。レファレンス報告は数行であるが、資料としては他の職員が見てもわかるものをまとめてある。これを公表できるかを今後検討していきたい。

レファレンスの体制などの反省するところはあるのか。

(回 答) 短い準備期間で開館したので、資料整理を進めながらレファレンスを行っている状態である。そのため、回答までに時間を有する時がある。簡単に資料を探す方法を現在探している状態である。

図書館資料の半分以上は、閉架所蔵と聞いた。そこで、閉架資料を掲示してほしいとお願いしたが、対応できないという回答であった。文書館のレファレンスは、図書館以上に難しいと考えるが、誰にでもわかるような調査の仕方の対応は。

(回 答) 目録で調べるのが一番無難と考えている。しかし、目録は何千枚という単位であり、日々変更が行われるので、サイクルの関係等検討しているところである。

(2)歴史文書館管理運営要領の一部改正(案)について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

(3)その他

〔委員からの意見〕

全国の文書館とのつながりはあるか。あるとすれば、研究紀要はあるのか。

(回 答) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会と、その関東部会に入会している。機関紙はあるが、研究紀要はない。また、国立公文書館では「アーカイブズ」を発行している。

磐田市歴史文書館が紹介されたことはあるのか。

(回答) 「アーカイブズ」、全史料協にも紹介されたことがある。

全国へ磐田から発信してほしい。

要覧のあいさつの中に、「公文書が散逸」と書かれている。旧磐田市の場合、旧の役場を公民館として使用し、公民館用の書庫を設置せず、旧役場文書の保存場所がなくなったことが原因ではないか。

この運営審議会には関係のない話だが、旧岩田村役場を撤去した。明治の合併の時の村役場で残っているのは、旧敷地村役場だけになるので、そこだけでも保存できるようなお考えをお願いしたい。